

令和 7 年 5 月 1 日

関係各位

一般社団法人茨城県リハビリテーション専門職協会
会長 佐藤 弘行

令和 7 年度茨城県高次脳機能障害支援養成研修の開催について（ご案内）

謹啓 若草の候ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃は格別のご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。

この度、茨城県より委託を受け、令和 7 年度茨城県高次脳機能障害支援養成研修を開催することとなりましたので、ご案内いたします。本研修は、高次脳機能障害についての知識を得ることやその障害特性を理解することで、高次脳機能障害の障害特性に応じた支援を実施できる、障害福祉サービス事業所等に従事する支援者を養成することを目的としています。

なお、本研修は令和 6 年度障害福祉サービス等報酬改定の新規加算である「高次脳機能障害支援体制加算」及び「高次脳機能障害者支援体制加算」の対象となります。つきましては、万障お繰り合わせのうえ本研修会にご参加いただけますようお願い申し上げます。

記

- 1 研 修 名 : 令和 7 年度茨城県高次脳機能障害支援養成研修
- 2 対 象 者 : 県内障害福祉サービス等事業所に従事する者
- 3 日程および会場 : 【基礎研修】別紙 1 参照
【実践研修】別紙 2 参照
- 4 定 員 : 50 名（原則、各事業所 1 名まで）
- 5 受講申込期間 : 令和 7 年 5 月 20 日（火）～7 月 11 日（金）
- 6 受講者の決定 : 令和 7 年 8 月 1 日（金）
- 7 費 用 : 無料
- 8 申 込 方 法 : 専用フォームからお申込みください
URL : <https://forms.gle/8aGLp6jiVhLuZMw56>
※または <https://www.irpa.jp/> からご確認ください
- 9 カリキュラム : 別紙 1、2 参照
- 10 その他 : すべての講義を受講された方には、修了証書を交付します



こちらの QR コードから
お申し込みできます

【研修に関するお問い合わせ】

一般社団法人茨城県リハビリテーション専門職協会
担当：松本・棚町
〒310-0034 茨城県水戸市緑町 3-5-35
MAIL : h-brain@irpa.jp

高次脳機能障害支援養成研修カリキュラム【基礎編】

講義名		分	科目	内容
Ⅰ 講義（オンデマンド受講） 令和7年8月1日（金）～令和7年9月12日（金）				
高次脳機能障害支援者 基礎研修とは	40	基礎研修の趣旨説明	基礎編研修の対象および構成	
高次脳機能障害とは		障害の定義 Q&A・各論の紹介		
高次脳機能障害の 診断・評価	40	障害特性の理解 診断・評価	診断の流れ、症状の成り立ち、症状の診かた 神経心理学的評価	
病院で行う リハビリテーション	40	障害特性の理解；医学的 リハビリテーション（病院 におけるリハビリテーシ ョン）、医療福祉連携	医学的リハビリテーション 医療福祉連携	
失語症と コミュニケーション支援	40	失語症と コミュニケーション支援	失語症とは 失語症の適切な対応方法	
制度利用	40	制度利用	高次脳機能障害支援に関連する法制度	
相談支援	40	地域における リハビリテーション	高次脳機能障害支援における情報収集・アセス メントの要点	
生活訓練	40		高次脳機能障害の生活訓練	
復職・就労移行支援	40		就労支援施策 就労移行支援における取り組み 高次脳機能障害の就労支援のポイント	
生活と支援の実際	40		生活支援の場における支援のプロセスと支援 方法・課題	
Ⅱ 演習（アダストリアみとアリーナ） 令和7年10月9日（木）				
障害特性の理解；診断・評 価体験	90	診断・評価体験	「順唱」「線分二等分」や「描画」等の体験(注 意や記憶の働き等の理解)	
障害特性に応じた支援	90	退院時支援の実際 情報収集と アセスメント	課題提示	
			グループ検討・発表	
			解説・質疑	
生活訓練の実際	90	生活訓練の実際	課題提示	
			グループ検討・発表	
			解説・質疑	
復職・就労移行支援	90	復職・就労移行支援	課題提示	
			グループ検討・発表	
			解説・質疑	

高次脳機能障害支援養成研修カリキュラム【実践編】

講義名		分	科目	内容		
Ⅰ 講義（オンデマンド受講） 令和7年10月10日（金）～令和7年11月24日（月）						
障害特性に応じた支援・地域の支援体制	40	障害特性に応じた支援・地域の支援体制	地域における高次脳機能障害の支援体制			
認知症・発達障害との共通点と相違点	40	認知症との共通点と相違点	認知症の種類・認知機能の低下・周辺症状			
認知症・発達障害との共通点と相違点	40	発達障害との共通点と相違点	発達障害の分類と症状特性			
小児期における支援	40	ライフステージに応じた支援	小児期における支援			
長期経過とフォローアップ	40		ライフサイクルをとおしてみた高次脳機能障害			
多職種連携・地域連携	40	チームアプローチの重要性と支援の原則	高次脳機能障害児者支援における多職種連携・地域連携			
多職種連携・地域連携	40	家族（きょうだい）支援・当事者家族会の活動	高次脳機能障害者家族支援の必要性和支援の視点			
コミュニケーション支援	40	コミュニケーション支援（地域生活・職場での支援）	失語症向け意思疎通支援事業 失語症以外の高次脳機能障害によるコミュニケーション障害の特徴と対応方法			
支援の実践的な枠組みと記録	40	支援の実践的な枠組みと記録	地域生活支援を展開するための諸計画の作成ポイントやつながり 記録を踏まえたフィードバックの意義			
自転車運転再開支援	40	自転車運転再開支援評価・手続き	高次脳機能障害者の自動運転支援に関連する法制度、運転評価、課題や留意事項			
Ⅱ 演習（文部科学省研究交流センター） 令和7年12月9日（火）						
障害特性の理解と対応方法	90	1.障害特性の理解と対応方法	高次脳機能障害の心理と対応法の理解			
			障害特性に基づくアセスメント グループワーク（障害特性の把握と対応方法のディスカッション）			
	90	2.障害特性とアセスメント	対応方法演習（ロールプレイ） グループワーク及び発表（対応方法の振り返りと支援計画検討）			
			環境調整による支援と記録に基づく支援の評価	90	1.環境調整の考え方と方法	強みや好みを活かす視点 環境調整の考え方 環境調整の方法
90	2.記録の収集と分析	行動の記録の方法 記録の整理と分析 再アセスメントと手順書の修正 チームアプローチを学ぶ（個別支援計画作成演習） グループ検討／まとめ				